

※保育所（園）こども園は乳幼児が長時間生活を共にする場です。感染症の集団での感染や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子ども達が1日快適に生活できることが大切です。

※園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育所（園）・こども園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

< 保護者記入用 >

登園届（保護者記入）			
つばさこども園長殿		児童氏名 _____	
		生年月日	年 月 日
年 月 日（病名） _____ と			
医療機関名 _____ において診断され、 登園のめやすを参考に、症状が回復すれば、登園可能と診断されています。			
_____ 年 _____ 月 _____ 日 症状が回復し、 集団生活に支障がない状態となりましたので登園いたします。			
保護者氏名			印（またはサイン）

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届けが必要な感染症

病名	症状	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	発熱と喉の痛み（3歳未満は熱があがらないことも）赤い疱疹、イチゴ舌など	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	発熱、咳（夜中に多く発症する）	適切な後抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	発熱（微熱程度）食欲不振、手のひら、足の裏などの疱疹、口腔内に水泡	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	リンゴのような頬の赤み、手足にレース状の発疹	発疹出現前の一週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	吐き気、嘔吐、軟便～水様便、食欲不振、胃痛など	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが、数週間ウイルスを排泄しているため注意が必要）	嘔吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱（高熱）、口蓋垂（のどちんこ）周辺の小水泡、咳、鼻水などの風症状	発症前の2日前から2～3週間（1か月程ウイルスを排泄しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発熱、咳、鼻水などの風邪症状 喘鳴（ゼイゼイ）、多呼吸など	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	体の左右どちらか片方に帯のような水泡（水泡ができると疼痛もともなう）	水泡が形成している間	全ての発疹が痂皮（かさぶた）化してから
突発性疱疹	発熱、咳、鼻水などの風邪症状 （解熱とともに全身への発疹）	発症して、1週間程度	解熱し機嫌が良く、全身状態が良いこと
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、頭痛、食欲不振、だるさ、咽頭痛、結膜充血、目痛、涙目、目やに	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから